

蟬丸／荒井姿水／中村仁美

黒藤院

招 華 微 笑

NEN

GE

MI

SHOH

1998

8/23 日

開場18:30／開演19:00

黒部市国際文化センター  
コラーレ

能舞台／野外

雨天 決行

◆入場料／全席自由 ( ) 観覧料 ( )

◆5歳未満のお子様は入場はできません。

◆公演の一時中断を希望される場合は事前にご連絡ください。

◆雨天の場合も決行しますが、会場内での観覧はできませんので、雨合羽等をご用意ください。

— 主催 — 財団法人黒部市国際文化センター

— 協賛 — チューリップテレビ

◆プレイガイド

(黒部) コラーレ

メルシー

ロイヤルパリエール黒部

新川文化ホール

サンラザ

(入道) コスモホール

ユアーズ

(朝日) アスカ

(宇奈月) セレネ

(黒山) (インフォマート) 市民プラザ

010-764-7013

010-764-91010

010-764-447013

◆お問い合わせ

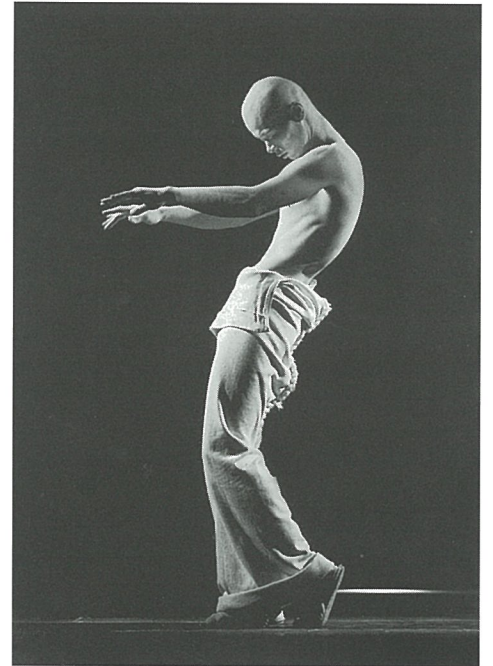
財団法人黒部市国際文化センター

010-764-7013

拈華微笑——心から心に伝えること。即ち、「以心伝心」の意。靈鷲山で説法した釈迦が、華を拈って大衆を見た時、ただ一人、摩訶迦葉だけがその意を悟って微笑したという故事による仏語。

この作品は上演する場所に合わせ演出を変えざるもののだが、今回は野外に常設されている能舞台ということで初めからかなり匂いの強い場所ということが言える。私自身は創作において「磁場との対話」という考えに立っているのだが、今回はその場所という以上に、この土地という、私の生まれ育った所という観念が強く作用する。十八歳の時にこの地を離れ二度と戻ることはいないと思っていたのだが、二十数年旅を続けていてこの地を忘れたことはない。ここに帰ると体を大地に投げ出し叫びたい衝動にかられる。私の体はこの土地から出来ているのだ。拈華微笑という言葉のごとく、私の踊りに対して「わかっているよ」と囁く声が聞こえるに違いない。

(蟬丸)



# 黒藤院 拈華微笑

(出演者)

蟬丸(舞踏・黒藤院主宰、山海塾メンバー)

荒井姿水(薩摩琵琶)

中村仁美(雅楽)

群舞

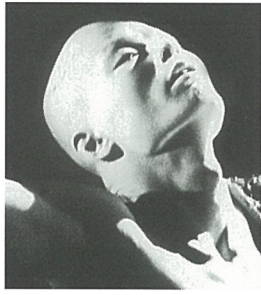
(スタッフ)

照明/岩村原太

音響/相川晶

衣装/飯塚昌代

写真提供/石田美奈子



蟬丸  
(せみまる)

黒藤院主宰/舞踏グループ山海塾メンバー

1975年山海塾創立に参画。以降すべての山海塾活動に参加。1985年ソロ活動開始。1990年独自のユニット黒藤院を旗上げ。野外などフリースペースでの作品が多く、肉体と精神の観察を好み、その分析の過程でイメージを得る舞踏家。



荒井姿水  
(あらいしずい)

薩摩琵琶錦心流中谷派裏水会主宰

1968年NHK邦楽技能者育成会第13期卒業。1980年日本琵琶楽協会主催第17回琵琶楽コンクール第1位・文部大臣賞・日本放送協会賞受賞。以後古典の世界で活躍するほか、文学・日本舞踊、邦楽器・朗読などのコラボレーションを重ねながら、古典で表現できる新たな可能性を追求している。



中村仁美  
(なかむらひとみ)

雅楽

東京芸大在学中に雅楽を知り、邦楽器のなかでも特異な音色をもつ箏(ウクレレ)にひかれる。箏・楽舞・左舞を宮内庁楽師に師事。1986年以降国立劇場の古典、新作曲の公演に参加。1990年よりTokyo Music Ensembleの欧州公演に参加。1994年より箏楽演奏会を主催。西方から渡来した箏の隠れた音色を探るため、トルコ、中国などアジアの箏楽の奏法を学び、独自の音楽を模索している。

## ◆石田美奈子写真展「夢幻遊戯」～蟬丸が舞うもうひとつの世界～

■日時：1998年8月20日(木)～31日(月) ■会場：カラーレ(展示室)

## ◆蟬丸ダンスワークショップ

■日時：1998年8月19日(水)・20日(木)・21日(金) 18:00～22:00  
 ■会場：カラーレ(カーターホール)  
 ■定員：各日25名(定員に達し次第、締切)  
 ■受講料：1日1,000円

※3日間独立したプログラムですので、1日だけの参加も可能です。  
 ※見学のみでも参加可能です。(見学無料)  
 ※事前にカラーレまでお申し込みください。

踊りの基本は踊りたいという衝動である。注目されたいとか目立ちたいとかいう感情は邪魔なことである。もちろん見ている人を認識はするが、風や岩や鳥と同様にその場を作る要素の一つだ。そして自分の体も一つの要素である。その要素のつながりの中に立ち自分の衝動がどう動くか、どうゆさぶられるか、それが磁場との対話である。

(蟬丸)